

定期接種で用いるワクチンについて

項目	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス）
対象者	<p>① 年度内に 65 歳を迎える方</p> <p>② 60～64 歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方</p> <p>注 1) 令和 7 年度から 5 年間（令和 11 年度末まで）は経過措置として、その年度に 70、75、80、85、90、95、100 歳になる方も対象です。</p> <p>注 2) 令和 7 年度に限り、100 歳以上の方は全員対象です。</p>	
接種回数 (接種方法)	1 回（皮下に接種）	2 回（筋肉内に接種）
接種スケジュール	—	<p>通常、<u>2 か月以上</u>の間隔を置いて 2 回接種</p> <p>※1 回目接種は遅くとも 1 月までに終える必要があります。計画立てて接種ください。</p> <p>※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を 1 か月まで短縮できます</p>
自己負担額	4, 0 0 0 円	1 回あたり 1 0, 0 0 0 円
町助成額	4, 8 6 0 円	1 回あたり 1 2, 0 6 0 円
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種出来ません	免疫の状態に関わらず接種可能です
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後 3 か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後 6 か月以上置いて接種してください	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です
他のワクチンとの同時接種・接種間隔	<ul style="list-style-type: none"> ● 医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能 ● 他の生ワクチンと 27 日以上の間隔を置く必要がある 	<p>医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能</p>

